

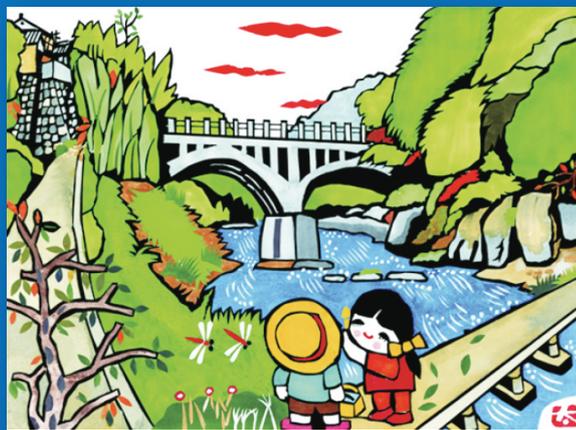
2022/7~2022/9

にっしん景況レポート

Vol.

26

2022/10



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2022年7~9月の景気の現状と2022年10~12月の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2022年7~9月の実績(9月については予想)
2022年10~12月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の360社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2022年7~9月
前期 = 2022年4~6月
前年同期 = 2021年7~9月
来期 = 2022年10~12月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	50	22	17	25	19	20
三木地区	54	17	10	6	8	9	4
神戸地区	153	24	24	17	39	26	23
業種合計	360	91	56	40	72	54	47

● 今期の景況

今期(2022年7月～9月)は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲13.6となり、前期(2022年4月～6月)に比べ1.1ポイント低下した。売上額判断D.I.は▲1.7となり、前期と比べて5.0ポイント低下した。収益判断D.I.は▲12.8となり、前期と比べて0.3ポイント低下した。

● 来期の見通し

来期(2022年10月～12月)の予想業況判断D.I.は▲12.0となり、今期実績から小幅に改善する見通しとなった。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	11	54	181	101	13	360
回答割合	3.1%	15.0%	50.3%	28.1%	3.6%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 18.056\% - 31.667\% \approx \mathbf{\Delta 13.6}$$

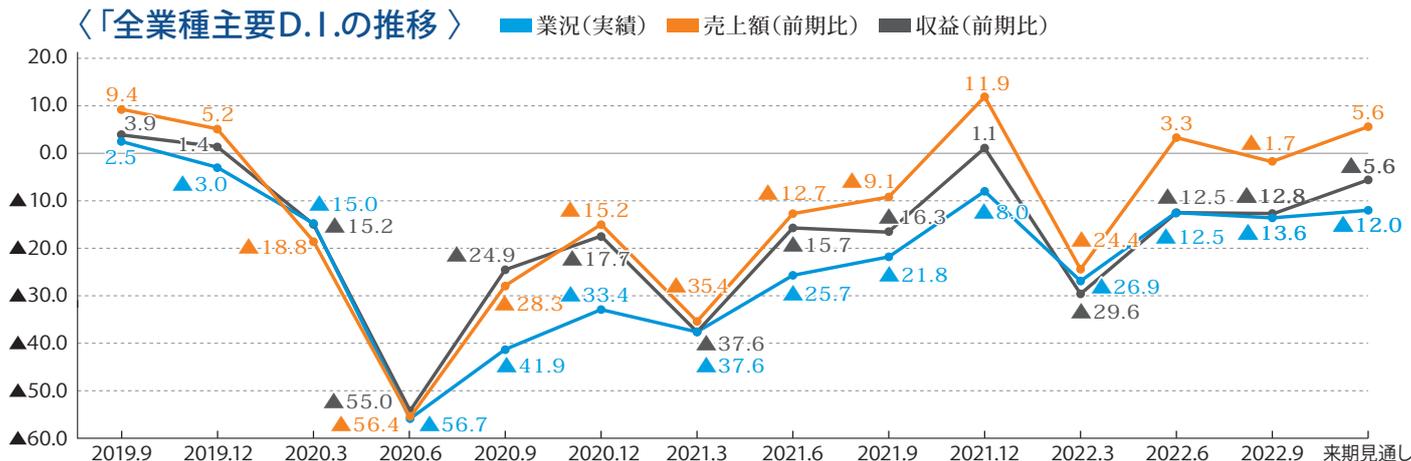
〈2022年7～9月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲13.7	▲12.0	▲22.7	▲47.1	▲24.0	15.8	5.0
三木地区	▲1.9	0.0	▲10.0	▲50.0	12.5	11.1	25.0
神戸地区	▲17.6	▲29.2	▲29.2	▲5.9	▲30.8	▲11.5	13.0
全地区	▲13.6	▲14.3	▲23.2	▲30.0	▲23.6	1.9	10.6

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲12.5	▲13.6	▲12.0	販売価格(前期比)	29.6	30.3	25.8
売上額(前期比)	3.3	▲1.7	5.6	仕入価格(前期比)	71.9	69.1	62.9
売上額(前年同期比)	5.3	3.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲1.1	▲5.8	▲8.4
収益(前期比)	▲12.5	▲12.8	▲5.6	人手不足(過剰-不足)	▲29.4	▲33.3	▲31.1
収益(前年同期比)	▲10.0	▲10.3	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲14.3となり、前期実績と比して1.1ポイント改善した。

売上額判断D.I.は5.5、収益判断D.I.は▲8.8となり、前期実績と比してそれぞれ7.7ポイント、13.2ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は6.6、収益判断D.I.の前年同期比は▲9.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は▲2.2となり、前期実績と比してマイナスに転換した。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲14.3と今期実績から変わらない見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は0.0、予想収益判断D.I.は▲15.6となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなった。

〈 製造業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 14.3	販売価格(前期比)	35.2	35.2	27.8
売上額(前期比)	▲ 2.2	5.5	0.0	仕入価格(前期比)	82.4	80.2	64.4
売上額(前年同期比)	9.9	6.6	—	資金繰り(楽-苦)	1.1	▲ 2.2	▲ 6.7
収益(前期比)	▲ 22.0	▲ 8.8	▲ 15.6	人手不足(過剰-不足)	▲ 25.3	▲ 24.2	▲ 21.1
収益(前年同期比)	▲ 15.4	▲ 9.9	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲23.2となり、前期実績と比して3.6ポイント低下した。

売上額判断D.I.は0.0、収益判断D.I.は▲14.3となり、前期実績と比してそれぞれ7.1ポイント、5.4ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は0.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲21.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は変わらず、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲21.8と今期実績から改善する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は16.7、予想収益判断D.I.は0.0となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなった。一方、予想資金繰り判断D.I.は▲11.1となり、今期実績から大幅に低下する見通しとなった。

〈 卸売業主要D.I. 〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 19.6	▲ 23.2	▲ 21.8	販売価格(前期比)	53.6	46.4	46.3
売上額(前期比)	7.1	0.0	16.7	仕入価格(前期比)	75.0	69.6	63.0
売上額(前年同期比)	30.4	0.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 1.8	▲ 1.8	▲ 11.1
収益(前期比)	▲ 8.9	▲ 14.3	0.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 8.9	▲ 19.6	▲ 25.9
収益(前年同期比)	▲ 12.5	▲ 21.4	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲30.0となり、前期実績と比して2.5ポイント改善した。

売上額判断D.I.は▲12.5、収益判断D.I.は▲25.0となり、前期実績と比してそれぞれ25.0ポイント、15.0ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は2.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲7.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は▲10.0となり、前期実績と比して10.0ポイント低下した。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲22.5と今期実績から改善する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は27.5、予想収益判断D.I.は20.0となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなった。一方、予想資金繰り判断D.I.は▲12.5となり、今期実績から低下する見通しとなった。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 32.5	▲ 30.0	▲ 22.5	販売価格(前期比)	45.0	40.0	32.5
売上額(前期比)	12.5	▲ 12.5	27.5	仕入価格(前期比)	77.5	67.5	65.0
売上額(前年同期比)	▲ 20.0	2.5	—	資金繰り(楽-苦)	0.0	▲ 10.0	▲ 12.5
収益(前期比)	▲ 10.0	▲ 25.0	20.0	人手不足(過剰-不足)	▲ 27.5	▲ 17.5	▲ 12.5
収益(前年同期比)	▲ 12.5	▲ 7.5	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲23.6となり、前期実績と比して7.2ポイント低下した。

売上額判断D.I.は▲13.9、収益判断D.I.は▲22.2となり、前期実績と比してそれぞれ27.6ポイント、15.4ポイント低下した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は11.1、収益判断D.I.の前年同期比は▲4.2となり、昨年と同じ時期に比べ売上額は増加し、収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲8.5と今期実績から改善する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は8.3、予想収益判断D.I.は▲8.3となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなった。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 16.4	▲ 23.6	▲ 8.5	販売価格(前期比)	11.0	9.7	13.9
売上額(前期比)	13.7	▲ 13.9	8.3	仕入価格(前期比)	58.9	59.7	55.6
売上額(前年同期比)	9.6	11.1	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 16.4	▲ 22.2	▲ 16.7
収益(前期比)	▲ 6.8	▲ 22.2	▲ 8.3	人手不足(過剰-不足)	▲ 41.1	▲ 52.8	▲ 45.8
収益(前年同期比)	▲ 2.7	▲ 4.2	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は1.9となり、前期実績と比して9.3ポイント改善した。

売上額判断D.I.が▲5.6、収益判断D.I.が▲9.3となり、前期実績と比してそれぞれ7.4ポイント、12.9ポイント改善した。また、売上額判断D.I.の前年同期比は▲14.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲20.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

○ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲13.0と今期実績から低下する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は▲16.7、予想収益判断D.I.は▲18.5となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなった。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 7.4	1.9	▲ 13.0	販売価格(前期比)	1.9	7.4	0.0
売上額(前期比)	▲ 13.0	▲ 5.6	▲ 16.7	仕入価格(前期比)	81.5	72.2	74.1
売上額(前年同期比)	▲ 13.0	▲ 14.8	—	資金繰り(楽-苦)	3.7	3.8	0.0
収益(前期比)	▲ 22.2	▲ 9.3	▲ 18.5	人手不足(過剰-不足)	▲ 46.3	▲ 55.6	▲ 55.6
収益(前年同期比)	▲ 18.5	▲ 20.4	—				

○ 今期の景況

今期の業況判断D.I.は10.6となり、前期実績と比して8.5ポイント低下した。

売上額判断D.I.は14.9、収益判断D.I.は2.1となり、前期実績と比して売上額は10.6ポイント改善し、収益は変わらなかった。また、売上額判断D.I.の前年同期比は12.8、収益判断D.I.の前年同期比は2.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

資金繰り判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して12.8ポイント低下した。

○ 来期の見通し

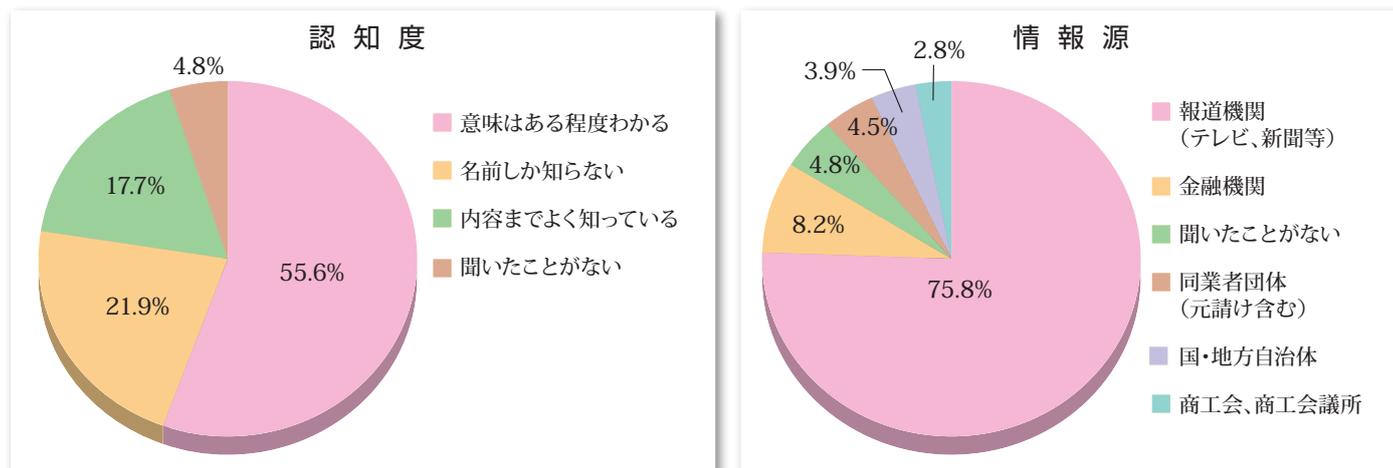
来期の予想業況判断D.I.は8.5と今期実績から低下する見通しとなった。また、予想売上額判断D.I.は6.4、予想収益判断D.I.は4.3となり、今期実績から売上額は低下し、収益は改善する見通しとなった。

〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	19.1	10.6	8.5	販売価格(前期比)	38.3	51.1	40.4
売上額(前期比)	4.3	14.9	6.4	仕入価格(前期比)	52.2	58.7	56.5
売上額(前年同期比)	2.1	12.8	—	資金繰り(楽-苦)	12.8	0.0	▲ 2.1
収益(前期比)	2.1	2.1	4.3	人手不足(過剰-不足)	▲ 26.1	▲ 25.5	▲ 21.3
収益(前年同期比)	4.3	2.1	—				

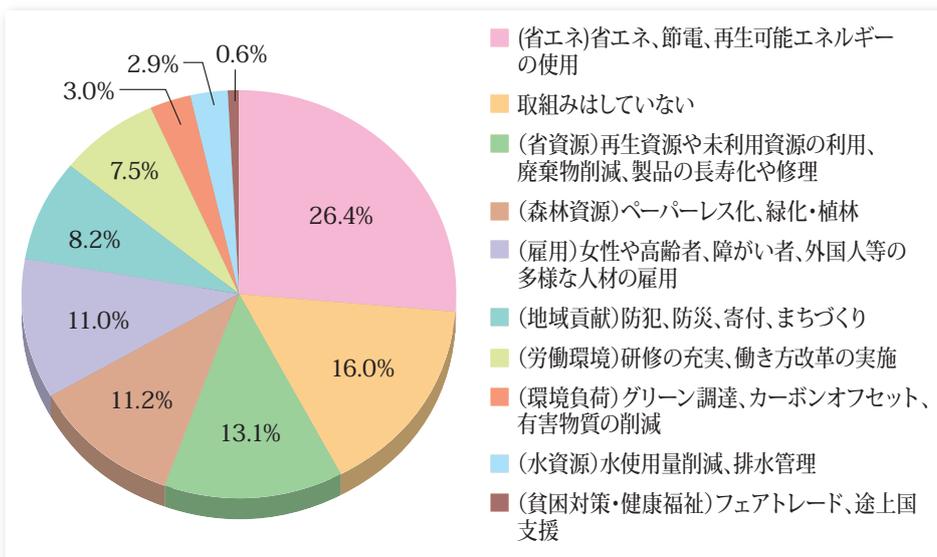
特別調査：「中小企業におけるSDGs（持続可能な開発目標）の取組状況について」

◎ ～SDGsについてどのような認知度にありますか。また、どういった機関から情報を得ていますか。～



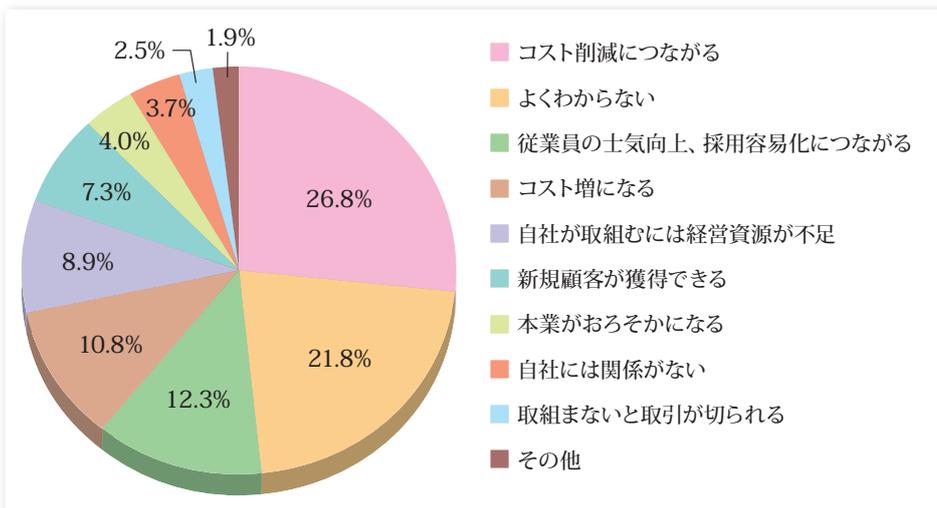
SDGsの認知度については、「意味はある程度わかる（55.6%）」が最も多く、次いで「名前しか知らない（21.9%）」、「内容までよく知っている（17.7%）」、「聞いたことがない（4.8%）」の順となった。また、その情報源については、「報道機関（テレビ、新聞等）（75.8%）」が最も多く、次いで「金融機関（8.2%）」、「聞いたことがない（4.8%）」、「同業者団体（元請け含む）（4.5%）」、「国・地方自治体（3.9%）」、「商工会、商工会議所（2.8%）」の順となった。

◎ ～SDGsの理念について、これらの取組みを行っていますか。～



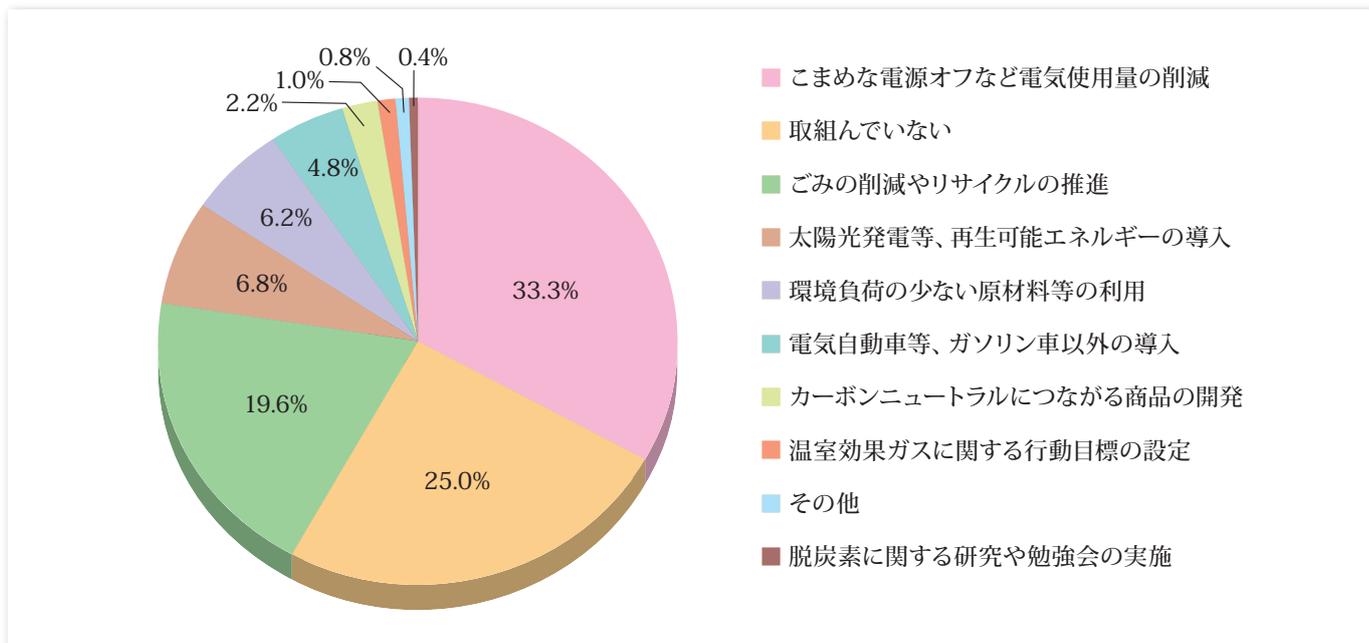
SDGsの理念に関する取組みについては、「省エネ、節電、再生可能エネルギーの使用（26.4%）」が最も多く、次いで「取組みはしていない（16.0%）」、「再生資源や未利用資源の利用、廃棄物削減、製品の長寿化や修理（13.1%）」、「ペーパーレス化、緑化・植林（11.2%）」、「女性や高齢者、障がい者、外国人等の多様な人材の雇用（11.0%）」、「防犯、防災、寄付、まちづくり（8.2%）」、「研修の充実、働き方改革の実施（7.5%）」、「グリーン調達、カーボンオフセット、有害物質の削減（3.0%）」、「水使用量削減、排水管理（2.9%）」、「フェアトレード、途上国支援（0.6%）」の順となった。

◎ ～企業がSDGsに取組むことについてどのような印象を持っていますか。～



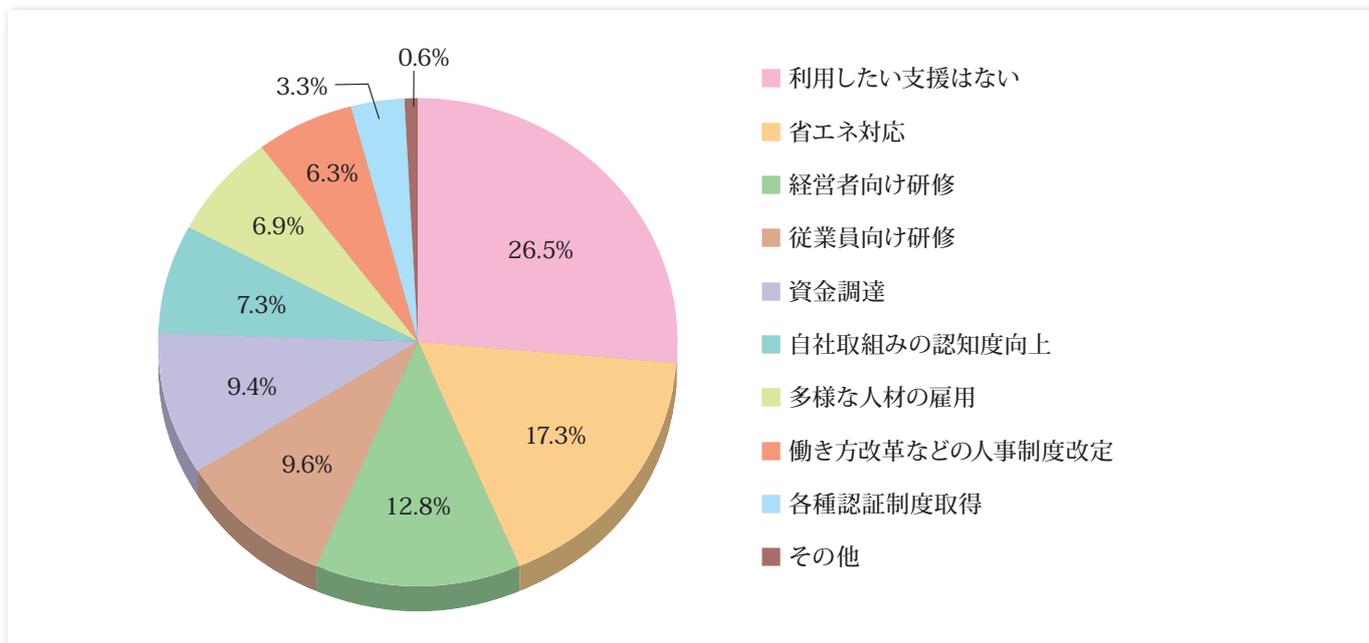
企業がSDGsに取組むことについての印象については、「コスト削減につながる（26.8%）」が最も多く、次いで「よくわからない（21.8%）」、「従業員の士気向上、採用容易化につながる（12.3%）」、「コスト増になる（10.8%）」、「自社が取組むには経営資源が不足（8.9%）」、「新規顧客が獲得できる（7.3%）」、「本業がおろそかになる（4.0%）」、「自社には関係がない（3.7%）」、「取組まないと取引が切られる（2.5%）」、「その他（1.9%）」の順となった。

● ～カーボンニュートラル（温室効果ガスの排出量の削減ならびに吸収作用の保全及び強化）について、貴社で取組まれている施策は何ですか。～



カーボンニュートラルに関して取組んでいる施策については、「こまめな電源オフなど電気使用量の削減(33.3%)」が最も多く、次いで「取組んでいない(25.0%)」、「ごみの削減やリサイクルの推進(19.6%)」、「太陽光発電等、再生可能エネルギーの導入(6.8%)」、「環境負荷の少ない原材料等の利用(6.2%)」、「電気自動車等、ガソリン車以外の導入(4.8%)」、「カーボンニュートラルにつながる商品の開発(2.2%)」、「温室効果ガスに関する行動目標の設定(1.0%)」、「その他(0.8%)」、「脱炭素に関する研究や勉強会の実施(0.4%)」の順となった。

● ～SDGsについて、外部機関（公的、民間問わず。）からどのようなサポートを期待しますか。～



SDGsに関して外部機関からどのようなサポートを期待するかについては、「利用したい支援はない(26.5%)」が最も多く、次いで「省エネ対応(17.3%)」、「経営者向け研修(12.8%)」、「従業員向け研修(9.6%)」、「資金調達(9.4%)」、「自社取組みの認知度向上(7.3%)」、「多様な人材の雇用(6.9%)」、「働き方改革などの人事制度改定(6.3%)」、「各種認証制度取得(3.3%)」、「その他(0.6%)」の順となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、新型コロナウイルスの感染状況により中止又は延期させていただきます場合がございます。

また、募集状況により受付を終了している場合がございます。

●「土曜創業相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和4年11月12日(土)13:00～17:00
②令和4年12月10日(土)13:00～17:00
- 会場：明石商工会議所5階会議室
- 参加費：無料 ●定員：各日程4組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します！

事業承継をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和4年10月17日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 玉津支店
②令和4年11月21日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 三木支店
③令和4年12月5日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 本山支店
- 参加費：無料 ●定員：各日程3組(ご相談時間1組75分)

●新春吉本バラエティーショー観劇会を実施します！

令和2年の開催から3年ぶりに当金庫主催の「新春吉本バラエティーショー」を開催します。参加申し込みは11月中旬に開始する予定です。みなさん是非ご参加ください。

- 開催日：令和5年1月5日(木)2回公演 ●会場：神戸国際会館「こくさいホール」
1回目公演 10:30～13:00(予定)
2回目公演 15:00～17:30(予定)

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



このたびは、第26回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで